

## EM廃油石けん編

使い方シリーズ その3

## 固形石けんを作る方法

## 用意するもの

[廃油]  
3.3L[カセイソーダ]  
450g[米のとぎ汁  
EM発酵液]  
1L  
(EM活性液でも可)A [カセイソーダを溶く  
容器] (2L以上)B [廃油とカセイソーダ  
溶液を混ぜる容器]  
(10L以上)[EMセラミックス(テラC等)]  
(無くても問題ありませんが、  
添加する事で品質の高い石けん  
になります。)  
約100g[石けんの型枠]  
1Lの牛乳のパック  
の場合、5個程度

## 手順

- 1 カセイソーダ450gをAの容器に入れる。

※作業の時は必ず手袋を  
付けてください。

- 2 米のとぎ汁EM発酵液をゆっくり入れ、  
カセイソーダを溶かす。

※この時、熱が出てガスが発生  
しますが、吸い込まないように  
ご注意ください。

- 3 カセイソーダ溶液を棒でかき混ぜて  
反応熱を冷やす。

※EMセラミックスは、  
この時点で加えて  
下さい。

- 4 廃油3.3リットルを計りBの容器に  
入れる。



- 5 廃油を入れた4の容器の中に3の  
カセイソーダ溶液をゆっくり注ぐ。  
(1リットルの溶液を5~10分かけて注ぎます)



- 6 棒でかき混ぜる(攪拌は約30分)  
※気温・湿度・油の状態によって多少の  
誤差があります。

マヨネーズ状になって  
きたらOK!

- 7 牛乳パックに流し込む。  
必ずゴム手袋をはめること。

この時、焼酎などの大きめ  
のペットボトルの口を切り取  
って、じょうごにすると簡単  
にできます。バケツ等に入れて倒れない  
ように固定します。(タッパーウエアやバスターケースも  
型枠として使えます。)

- 8 半日~3日ほど経過したら、牛乳パック  
の腹を時々押してみ、ようかん程度の  
固さになったらゴム手袋を着けて、パック  
を切り開いて取り出します。

カッターなどで牛乳パック  
を切り開いてください。

- 9 石けんを包丁などで切り分けて  
日陰で1ヶ月間熟成させます。



EM石けん完成!

## 【注意事項】

1. カセイソーダは劇薬なので、作業中手についたり目にはいらないように注意しましょう。
2. 作業は換気の良い場所で行い、マスクや手袋をして、肌を露出しないような服装で。道具もカセイソーダと反応しやすいアルミや銅は避け、ステンレスやホウロウ製のものを使用してください。
3. 作業中に溶液や石けんが手に付いたら、水道水でしっかりと洗い流してください。
4. 比較的あたたかい時期に作るのが理想です。
5. 作りたての石けんはアルカリ性が強いので、1ヶ月以上熟成させてから使用します。(工程9)

EMの使い方について  
のお問い合わせはこちら

EM研究機構

〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1478  
TEL:098-935-0202 FAX:098-935-0205<http://www.emro.co.jp>